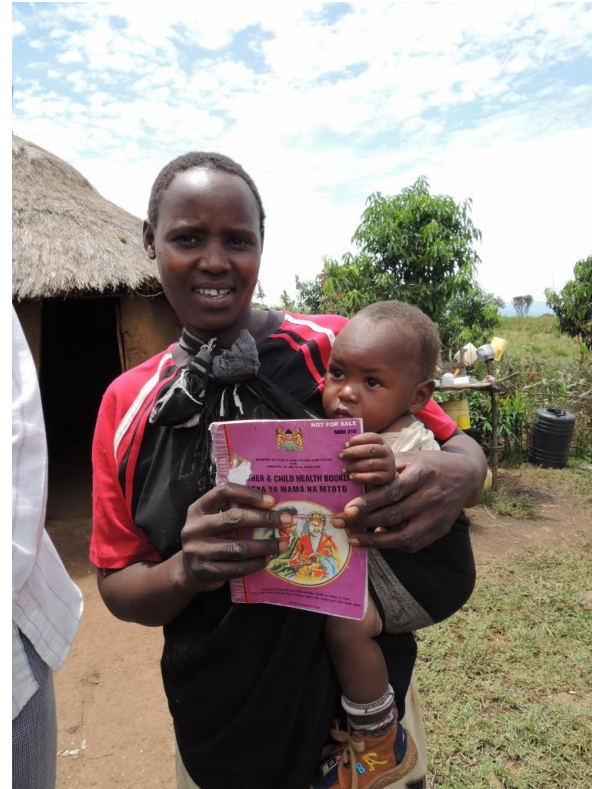


認定NPO法人HNADS総会
いま世界の母子手帳が熱い！



中村安秀

HANDS シニアテクニカルアドバイザー
日本WHO協会 理事長(大阪大学名誉教授)

世界に広がる日本の発明

1. 廻り舞台
2. 蚊取り線香
3. 母子手帳
4. 胃カメラ
5. サインペン
6. クォーツ腕時計
7. オートフォーカスカメラ
8. 青色発光ダイオード
9. パンの缶詰
10. 人工クモ糸

『おしごと年鑑2018』(朝日新聞社)



母子健康手帳は日本の発明 (1948年:昭和23年)

母子手帳が誇る2つの特長

★母と子の両方の健康記録がひとまとめ

★健康情報や母子の記録が家庭で所有

記録内容:

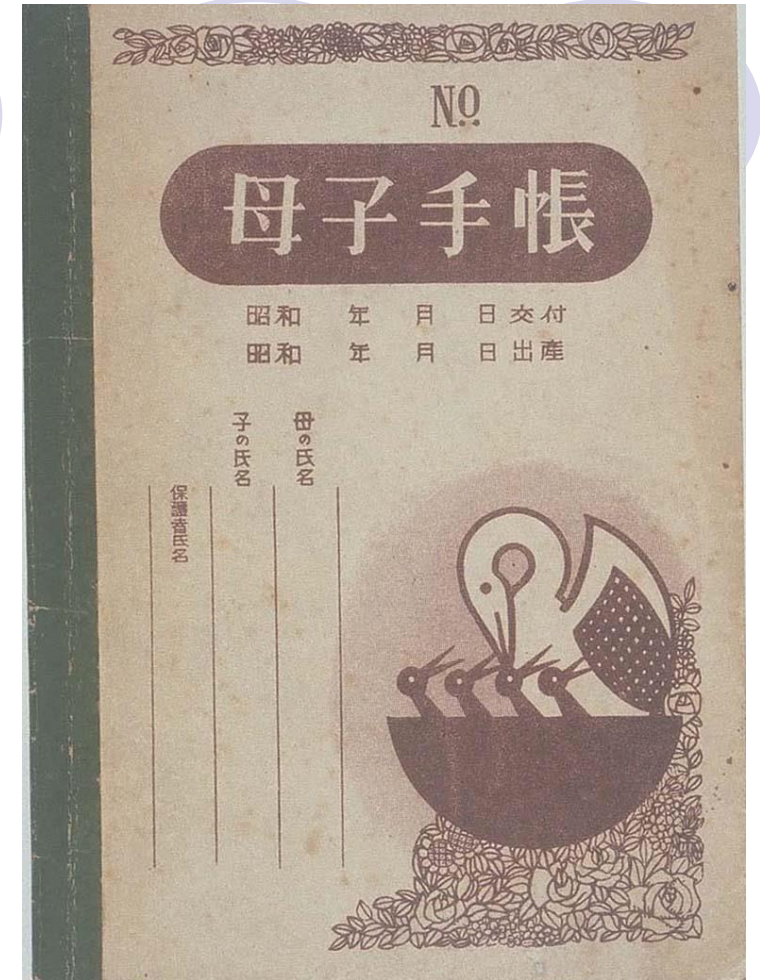
妊婦健診、赤ちゃんの出生記録、

子どもの発育記録、予防接種記録、

読み物:

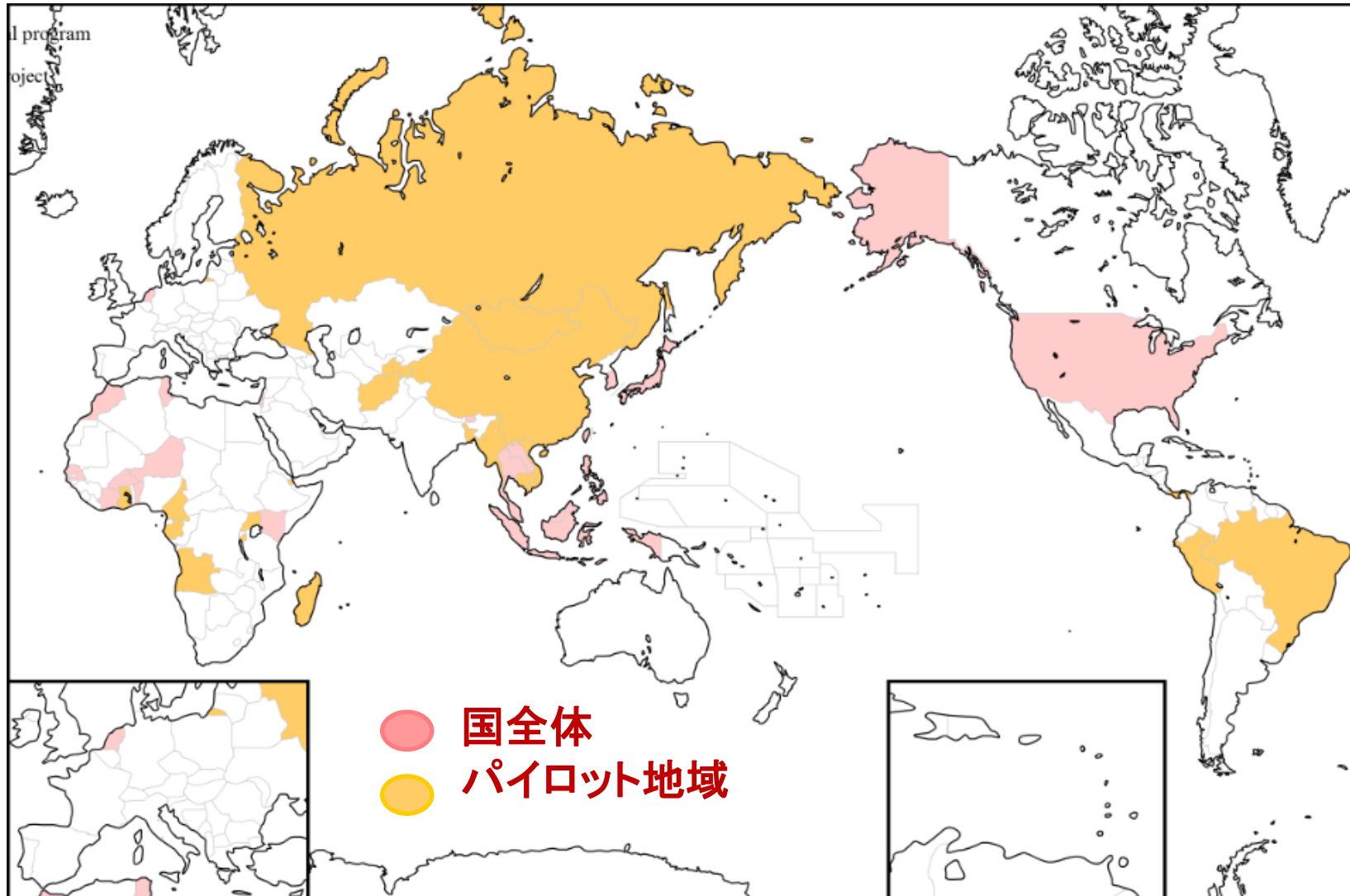
妊娠中の健康、育児のしおり、栄養指導など

情報編:公費負担制度、保健機関連絡先など











1948年 日本の厚生省(当時)
が発行した「母子手帳」
世界で最初に母親と子どもの記録
を1冊にまとめた

母子健康手帳を使っている国や地域 (2021年:国際母子手帳委員会作成)



名前は母子手帳だけど、中身はお父さんが活躍

Kenya - Care for Child Development

6 MONTHS UP TO 9 MONTHS	9 MONTHS UP TO 12 MONTHS	12 MONTHS UP TO 2 YEARS	2 YEARS AND OLDER
<p>Give your child clean, safe household things to handle, bang and drop.</p> <p>Examples of play items: Containers with lids, metal pot and spoon.</p> 	<p>Hide an attractive item for the child under a cloth or box.</p> <p>See if the child can look for it.</p> <p>Play peek-a-boo.</p> 	<p>Give your child things to stack up and to put into containers and take out.</p> <p>Examples of play items: Nesting and stacking objects, containers and pegs.</p> 	<p>Help your child count, name and compare things.</p> <p>Help your child to make simple play items.</p> <p>Examples of play items: Balls and dolls and cars.</p> 
<p>Respond to your child's sounds and interests.</p> <p>Call the child's name, and see how your child responds.</p> 	<p>Tell your child the names of things in their environment, such as items, people and animals.</p> <p>Show your child how to say things with hands, like "bye-bye"</p> 	<p>Ask your child simple questions.</p> <p>Respond to your child's attempts to talk.</p> <p>Show and talk about nature, people and things with your child.</p> 	<p>Encourage your child to talk and answer your child's questions.</p> <p>Tell your child stories, sing songs and play games together.</p> <p>Examples of play item: Simple books with pictures, dolls, balls and toy cars.</p> 

ケニア：子どもの発達

Daily care during pregnancy

Protect yourself and baby from malaria by using insecticide treated bednets especially in Malaria endemic areas.



Sleep at least 1-2 hours during the day preferably on your left side, to have a healthy pregnancy.



Avoid heavy lifting for the safety of your-self and your baby.



Do not take any medicines without health care provider advice.

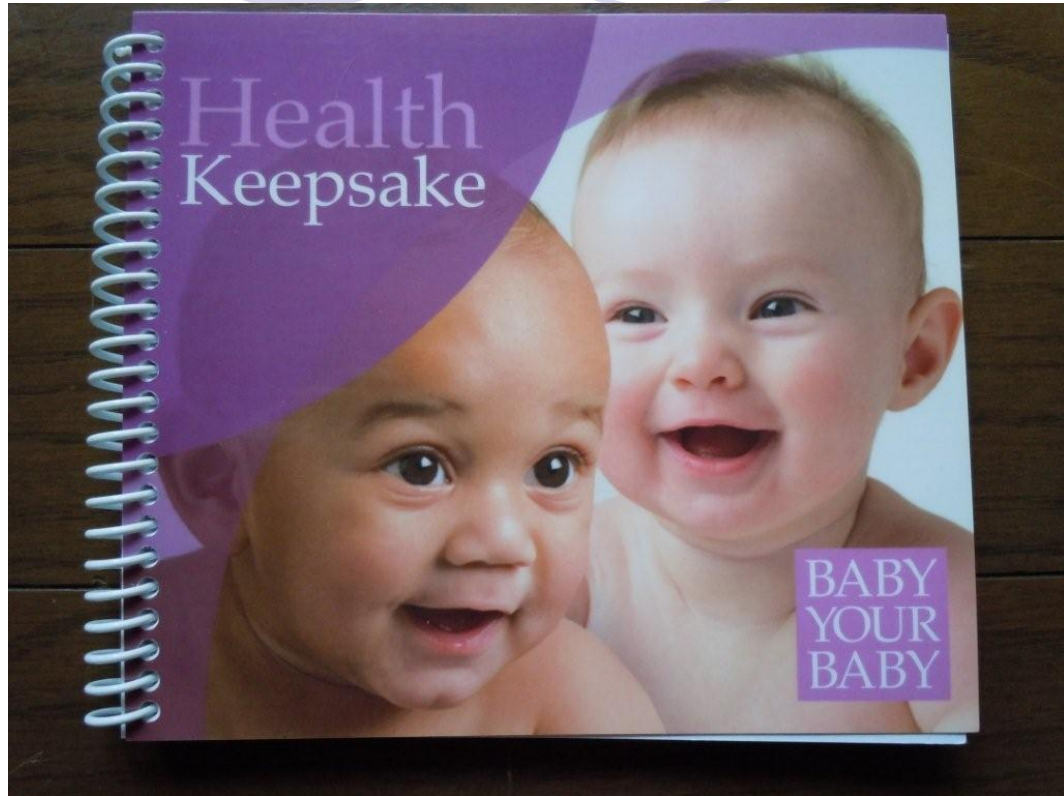


Avoid taking Narcotics, tobacco, hashish, opium, snuff and cigarette smoking.

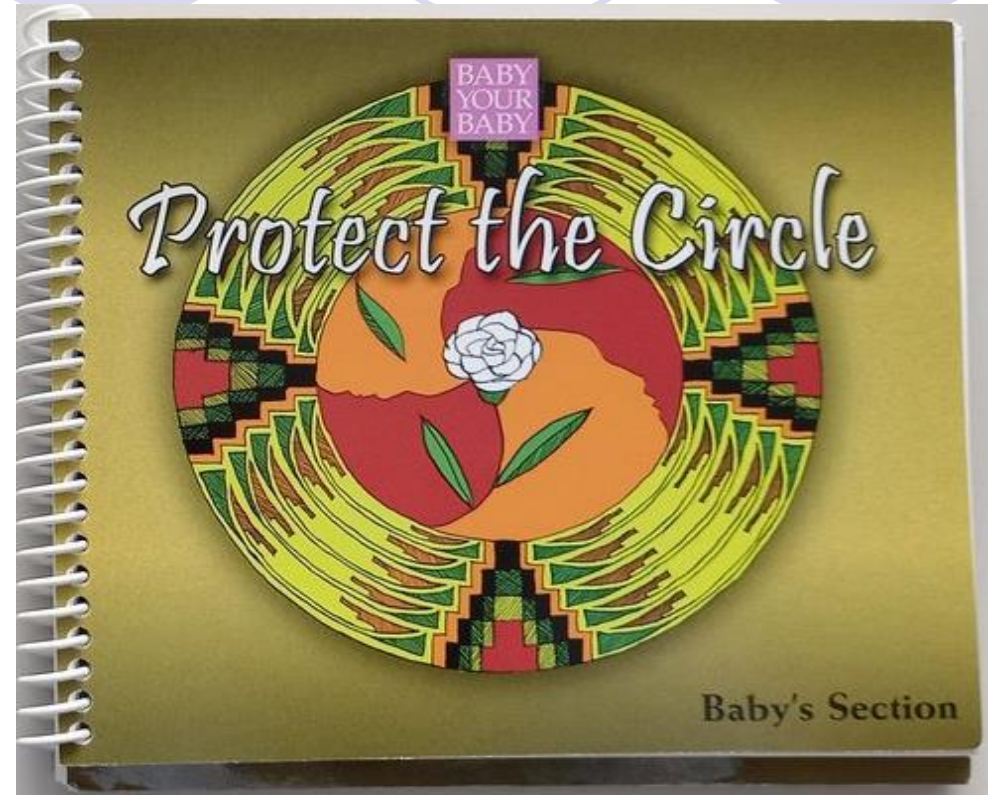


アフガニスタン：妊娠中の日常のケア

民族や文化に配慮する母子手帳 (アメリカ合衆国・ユタ州)



アメリカ合衆国のユタ州では、「親から子どもへの思い出の品」として母子健康手帳をはじめた



ユタ州に住むアメリカ先住民の人たちのために、子どもの写真を使わない表紙の母子健康手帳を作った。

母子手帳を有効に活用するには、 保護者と医療者の共同作業が必要

(中村安秀. 日本の小児医療をグローバルに活かす:世界に広がり変貌する母子健康手帳.
日本小児科学会誌, 2020;124(9):1351-1360)

母子手帳を有効に活用するには、保護者と医療者の共同作業が必要である。乳幼児健診だけでなく、疾病で受診したときも医療者が母子手帳の情報を大切に活用することにより、母子手帳を持参する率が次第に高くなっていく。

インドネシアの西スマトラ州で、母子手帳の活用の意義を実証する研究が実施された。介入群と対照群の横断的調査により、妊娠中の食事、適切な母乳哺育、妊婦健診の早期受診、小児の予防接種などにおいて、母親の知識と保健医療サービス利用の間で高い相関関係が見られた。

ただ、単に母子健康手帳を持っているといった受動的な利用だけでは大きな行動変容を生じることではなく、医療者から説明受け手帳を読みよく理解するといった能動的な利用を行うことが行動変容につながっていた。

(Kusumayati A, Nakamura Y. Increased utilization of maternal health services by mothers using the Maternal and Child Health Handbook in Indonesia. Journal of International Health 2007; 22(3); 143-151)

第13回母子手帳国際会議（カナダ・トロント）

とき:

2022年 8月24日、25日

ばしょ:

オンライン開催/トロント大学

参加者:

1,049人(61の国や地域)

アジア、アフリカ、ヨーロッパ、
北米、中南米

主催:

国際母子手帳委員会

トロント大学

議長: Dr. Shafi Bhuiyan

協力・協賛:

WHO, UNICEF, UNFPA、JICA

日本WHO協会



第13回母子手帳国際会議の様子
(カナダ・トロント：2022年)

第13回母子手帳国際会議・プログラム

開会式:

秋篠宮皇嗣妃殿下

トロント大学公衆衛生大学院学長 Prof. Steini Brown、

WHO事務局長特別アドバイザーProf. Peter Singe、

山本尚子WHO事務局長補、

ユニセフ小児保健専門家Dr. Anne Detjen、

国連人口基金 (UNFPA) Dr. Sathyanarayanan Doraiswamy、

国際協力機構 (JICA) 佐久間潤氏 (日本)

基調講演: 中村安秀 (国際母子手帳委員会)、Miriam K. Were教授 (ケニア)、Dr. Anneke Kesler (オランダ)

「世界のグローバルな現状」 パキスタン、オランダ、バングラデシュ、ガーナ、カナダ、インドネシア

「母子手帳シンポジウム: 拡大、評価、持続可能性」 バングラデシュ、ナイジェリア、UNRWA (国連パレスチナ難民救済事業機関)、パレスチナ、ペルー、アフガニスタン

「母子手帳に関する優れた実践」 杉下智彦氏、Dr. Sarawut Boonsuk (タイ公衆衛生省)、板東あけみ氏

トロント宣言



第13回母子手帳国際会議

2日間の国際会議終了後のスタッフのリアル集合写真 (トロント大学ダラ・ラナ公衆衛生大学院: 2022年)

トロント宣言（2022年8月）

母子手帳はEDI (Equity, Diversity, and Inclusion) の原則を保健医療ケアに取り入れる

公平性: 十分なサービスを受けていない人々に、質の高いケアへのアクセスを改善する。

多様性: ボトムアップのアプローチにより、文化的配慮のあるサービスを提供する。

包摂: 低出生体重児、発達障害など特定のニーズに対応した医療サービスを提供する。

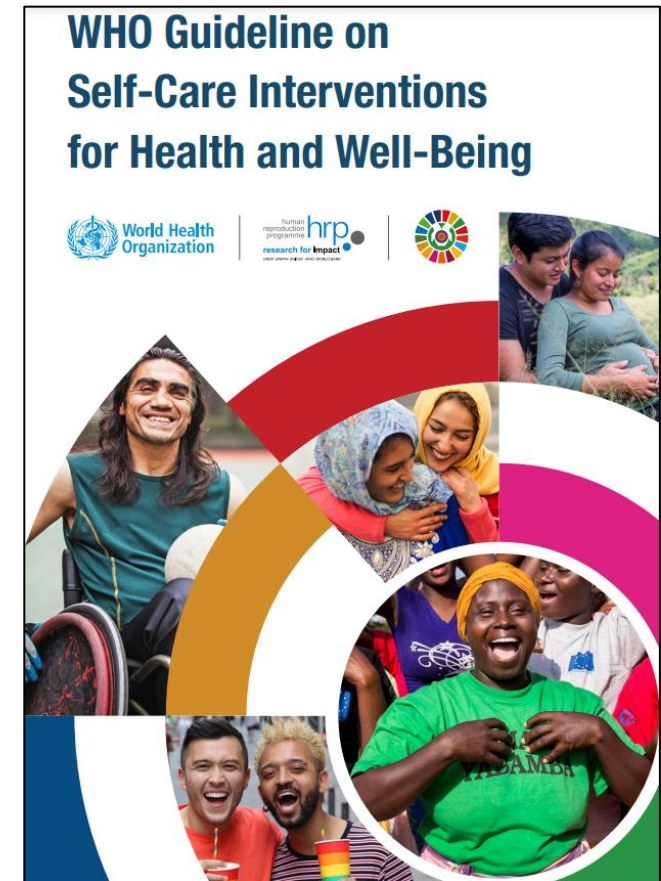
トロント宣言は、母子手帳を標準的なセルフケアツールとして統合することにより、リプロダクティブ・母性・新生児・小児・思春期の健康 (reproductive, maternal, neonatal, child, and adolescent health: RMNCAH) を革新的、公平、かつ持続的に発展させることを強く訴える。

WHOガイドライン 健康とウェルビーイングのためのセルフケア介入

WHO Guideline on self-care interventions for health and well-being 2021年7月

Self-care interventions are among the most promising and exciting new approaches to improve health and well-being, both from a health systems perspective and for people who use these interventions.

セルフケア介入は、医療システムの観点からも、これらの介入を使用する人々にとっても、健康とウェルビーイングを改善するための最も有望で刺激的な新しいアプローチの1つです。



第8回アフリカ開発会議（TICAD 8） 公式サイドイベント（オンライン）

とき: 2022年 9月15日

テーマ:

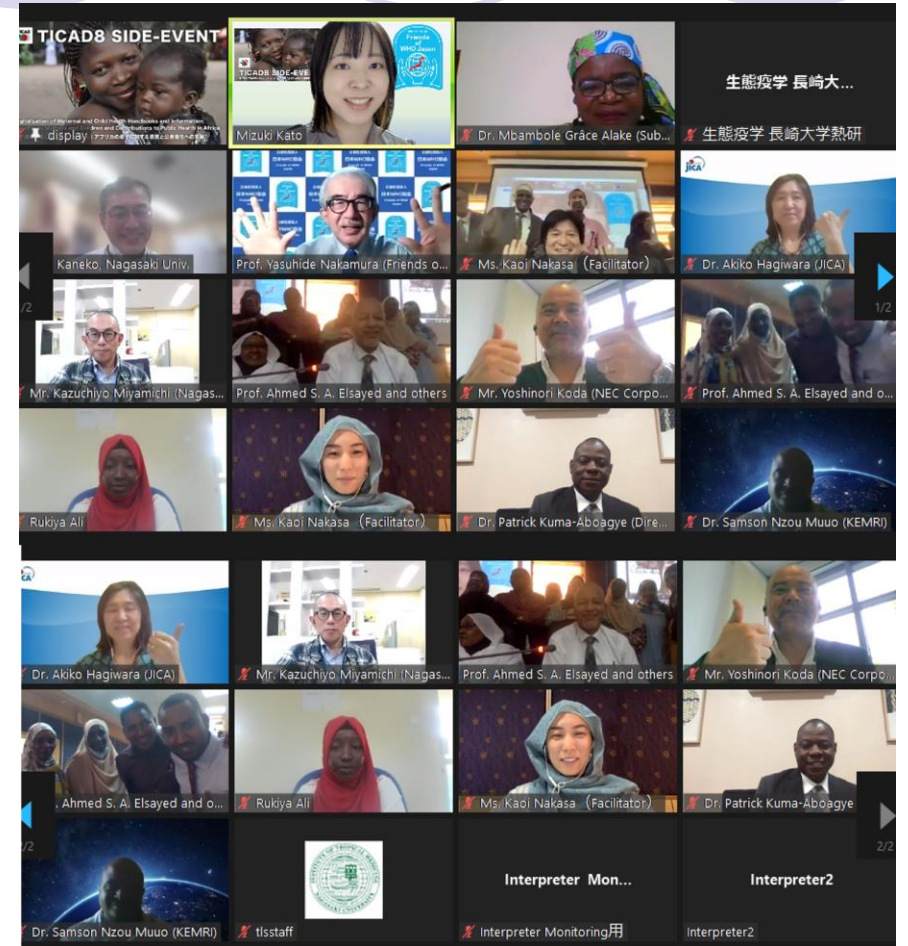
母子健康手帳と情報のデジタル化: アフリカの母子に対する恩恵と公衆衛生への貢献
(Digitalization of Maternal and Child Health Handbooks and Information: Benefits to Mothers and Children and Contributions to Public Health in Africa)

主催:

国立大学法人長崎大学、特定NPO法人ロシナンテス、公益社団法人 日本WHO協会

後援:

外務省、厚生労働省、デジタル庁、



TICAD 8公式サイドイベントの発表者・関係者の集合写真(2022年)

TICAD 8公式サイドイベント・プログラム

開会あいさつ:

ミリアム・ウェレ博士(ケニア:第1回野口英世アフリカ賞受賞者)

武見敬三参議院議員(WHOユニバーサル・ヘルス・カバレッジ親善大使)

井本 佐智子国際協力機構(JICA)理事

主催者あいさつ: 中村安秀(公益社団法人日本WHO協会)

実践報告

カメルーン: Dr. Grace Alake(カメルーン保健省)

ケニア: 長崎大学チーム

スーダン共和国: ロシナンテスチーム

Prof. Ahmad Elsayed (Alzaeim Alazhari 大学)

ガーナ: 萩原明子(JICA)、Dr. Patrick Kuma-Aboagye
(ガーナ保健省)

宣言 金子 総(長崎大学熱帯医学研究所)

閉会あいさつ 川原尚行(ロシナンテス)



TICAD 8公式サイドイベント

<https://www.youtube.com/watch?v=3vyBZ9zhcc8>

(長崎大学: 熱研museum Youtubeチャンネル)日本語版で、サイドイベントを視聴することができます

母子手帳・デジタル母子手帳・母子登録

母子手帳: Maternal and Child Health (MCH) Handbook

- ★母と子の両方の健康記録がひとまとめ
- ★健康情報や母子の記録が家庭で所有

デジタル母子手帳: Digital MCH Handbook

- ★母子の健康記録や健康情報をデジタル情報として、母子自身が保管できる
- ★デジタル媒体は、アプリ、SNS、you-tube、クラウドなどさまざまである

母子登録: Mother and Child (MC) Registration

- ★すべての母子を識別したうえで、匿名化した健康記録を収集・分析する
- ★公衆衛生学的研究や保健医療政策支援などを通じて、母子の健康データの母子の健康とウェルビーイングの向上のために活用する

母子の家庭用記録に関する ガイドライン(WHO, ユニセフ, JICA)

母子の家庭用健康記録 (home-based records)

- ・妊娠中の記録
- ・予防接種カード
- ・小児健康ブック
- ・統合した母子健康ブック

各国の協力を得て、全体計画、実践デザイン、実施、モニタリングと評価などについて、実践ガイド発行の最終段階。



WHO recommendations on home-based records for maternal, newborn and child health (2018)

22世紀へのプレゼントとしての母子手帳

ことし生誕する子どもたちに渡した母子手帳は、22世紀まで使われる！

(1) 日本の0歳平均余命（2020年の簡易生命表）：

男性81.47歳、女性87.57歳

(2) 厚生労働省科研費の研究結果

乳幼児健診を受診した母親（平均年齢は34.2歳）の87.5%が自分の母子手帳を自分自身あるいは自分の親が保管している（Komatsu N. et al. 2022. Keeping and Utilization of the MCH Handbook）

「バックキャストिंग手法」

持続可能な開発目標（SDGs）が採用した手法

まず2030年のあるべき姿を想定し、そのためにいま何をすべきかという視点

80年後の22世紀の母子手帳からバックキャストिंगしたい

母子手帳をどのように活用すればいいのかという議論の時間軸はあまりにも短い。

「22世紀を経験する子どもたちに何を手渡すべきか」荒唐無稽な着想と想像力が必要